

越信上

材造再・伐主

カラ松林業を次世代へ 信頼で築く山守り

吉本

ミアムカラ松、木質バ
イオマスまで幅広い需
要に対応している。6
000杉に及ぶ自社林
や国有林・民有林の森
林整備を行っており、
本社のほか群馬県上野
村と岩手県岩泉町に事
業所がある。

創業は1887年
(明治20年)4月。長
野県と群馬県を結ぶ十
石峠で木炭や石炭を商
っていたのが始まり。

吉本(長野県南佐久
郡、由井正隆社長)
は、県内を代表する林
業事業体の一つ。得意
とするカラ松杭丸太を
はじめ、高樹齢のプレ
枯濁。植林と保育に資

産を費やす時代が続い
た。同時に工法の変化
に伴いカラ松需要は次
第に衰退し、安値で買
いたたかれる不遇の時
代だった。

だが。資源量も充実し、
主伐・再造林の時期を
迎えている。カラ松の
人気は高く、出せば売
れる時代が到来した。



同社はこの好機を生
かし、次代に林業を伝
える取り組みを進めて
いる。現在、社員数は
40人で、このうち林業
現場や製材工場で
働く社員が30人。
社員の定着率が高い
のが特徴で、社員
のバックアップ
にも力を入れている。
地域の林家も
同社への信頼が厚
く、経営計画や団
地化施策を任せら
れている。林業が継
続できるように倫
理観をもって取り
組んでいる。

高性能林業機械の導入も進んでいる